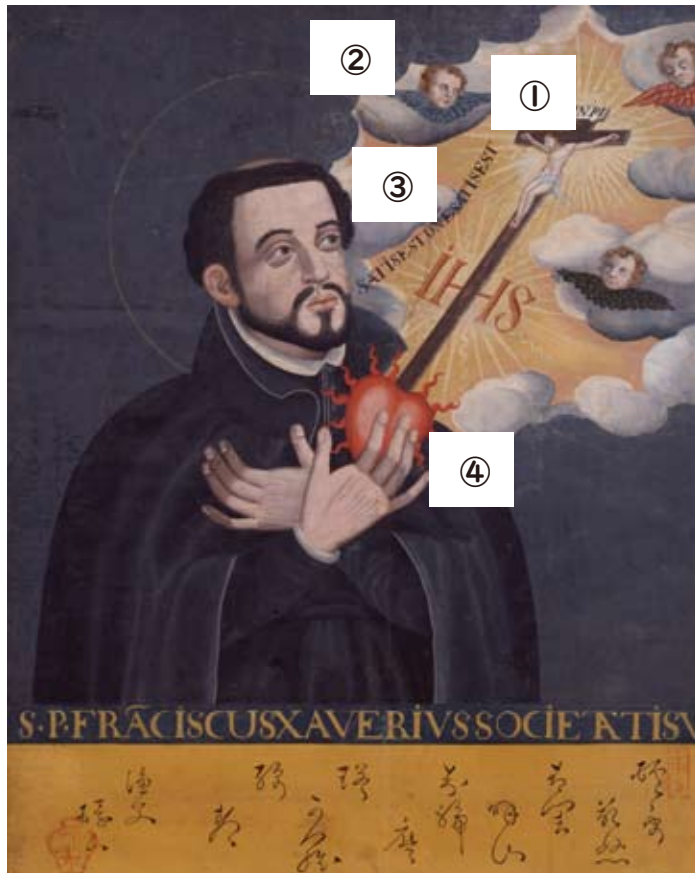




せい 聖フランシスコ・ザビエル像 ぞう

Q1. 次の文章の () をうめてみよう。

聖フランシスコ・ザビエルは、カトリックの修道会派のひとつ (イエズス) 会の創設者のひとりであり、アジアでの宣教活動を展開し、(1549) 年に日本への到達を果たした。こうして、日本にキリスト教が伝わった。17世紀にキリスト教が禁止される直前には、(キリシタン) とよばれる信者は全国で30万人を超えるほどになったといわれる。



年 組 番

Q2. 聖フランシスコ・ザビエル像を観察しよう。

(問題番号は絵の中の番号に対応しています。)

① この人物はだれだろう？また、どんなふうになっているだろう？

イエス・キリスト 十字架にはりつけにされている

② 周りを飛んでいるのは何だろう？

天使 (神様の愛をあらわすシンボル)

③ ザビエルは何と言っているのだろう？

また、その意味を考えてみよう。

充分です、主よ、充分です。

「私は神様の愛を十分に授かりました」という意味。

④ ザビエルの手にあるものは何だろう？

また、その意味を考えてみよう。

燃える心臓

「神様の愛を受けて激しく鼓動している」様子をあらわしている。

【③・④の解説】

ザビエルは教会の庭で祈っている際に、瞑想の中で神の愛にふれて意識を完全に失いました。その後、彼が我に返ると、熱くはれ上がった胸から上着を開いて、何度も③の言葉を、かなり強い口調でくり返したとのこと。

Q3. 聖フランシスコ・ザビエル像は「開けずの櫃」に入った状態で家の屋根裏から見つかった。なぜ、このような状態で保管されていたのか考えてみよう。

江戸時代に入るとキリスト教は禁止されてしまったので、幕府にばれないように隠し持っていたと考えられる。多くのものが処分されてしまった中で、今の時代にこのように残っているということは大変価値がある資料なんだね。

※「開けずの櫃」…開けてはいけないと伝えられていた箱